

氷ができた！

2025.2.27

真冬の寒さが続いています、子どもたちは寒さに負けず外遊びを楽しんでいます。
ある朝のこと、氷ができていることに大喜びでした。



大きいなあ

触ってみて

どの
くらいの
大きさ
(深さ)
なんだろう



氷が出来ていることに驚いたり、どうして水が固まるのか不思議に感じて考え合ったりする子ども達でした。「冷たい」と言いながらも手がかじかむまで触り、感触や溶ける様子を楽しんでいました。「つるつるしてる」と保育者や友達に伝える子どもの笑顔で心がほっこりと温まりました。



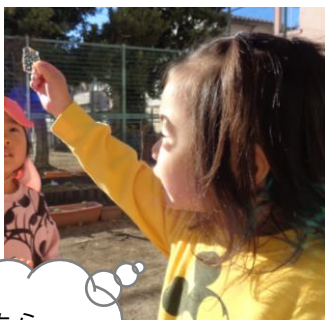
冷たいよ

こっちの方
はどう？

削って
細かくしたい



押し潰して
小さくしたい



光に当てたら
ぴかぴかして
綺麗な

『氷を小さくしたい』という思いから氷を打ち砕く姿が見られました。その時の感触、音、小さくなる様子など面白いと感じるポイントはそれぞれ違っていました。また、砕き方もすりこ木や削り器と方法が様々でしたよ。一つの遊びから色々な思いや遊び方が生まれたように、遊びは無限であることや子どもの発想の面白さを感じました。

今後も大人の固定概念にとらわれず、子どもの豊かな思いを読み取って柔軟に遊びを展開していきたいです。